

ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）の 侵入・拡散を防ぎましょう！！

※農研機構資料引用

☆ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）

- ・南米原産の多年草（国内の系統は種子をつけない）。
- ・水草で河川や池で大群落となり、水面をマット状に覆う。
- ・茎は千切れやすく、節や根から活発に再生。拡散しやすい。
- ・水陸両生なので、畔や畑地にも侵入。耐塩性も高い。
- ・関東以西の河川、水路、水田、畦畔などに侵入相次ぐ。



☆茎・根断片から再生



☆見分け方

花がない場合

☆葉は対生



☆葉先はややとがる



☆茎の中心は空洞
(ストロー状)



☆茎はなめらかでざらつかない



☆節からよく分枝する



花がある場合

- ☆小さな花が集まった球状花
- ☆長めの花柄がある
- ☆花柄は葉の脇から伸びる



生息場所を確認したいため、
圃場で発見された際には、
お近くの土地改良区までご連絡下さい。

※具体的な防除・対策例は裏面を参照ください。

農地周辺でナガエツルノゲイトウが見つかったら (具体的な防除・対策例)

※農研機構資料引用

☆水田内

- ・水稲用除草剤（初期剤や初中期剤）の体系処理で防除します。とくに給水栓まわりや畔際の防除を徹底します。まん延ほ場では後期剤の使用と水稲刈跡に茎葉処理剤（グリホサートなど）の散布が効果的です（降霜期までに）。
- ・河川など取水源に定着している地区では、**給水栓口にネット等**をとりつけ、かんがい用水経由での侵入を防止します※2。



※2 ネット設置例

☆畦畔

- ・**刈り払いによって断片が農地に侵入**するおそれがあるので、定着が見られる畦畔では除草剤中心の管理を行います。茎葉処理剤の効果的な散布時期は9月以降～降霜期までの期間です。
- ・農地も畦畔際の防除（茎葉処理剤の秋散布など）に務めます。



※刈り払いによっ
て、小さな断片が
拡散し、その場で
再生。